令和3年度沖縄県相談支援従事者現任研修

レポート提出に係る提出書類チェック表

受講番号		申込者氏名	印

＊課題を提出する際には、こちらの用紙を表紙にして提出してください。

研修受講生のみなさまへ

・ｅラーニングの動画視聴は、９月 22 日～開始します。それより前は視聴できません。
・申し込みの際にご記入いただいたメールアドレスに「e-ラーニングの案内」をお送りしているので、各自、確認をお願いします。
・『障害者相談支援従事者研修テキスト　現任研修編』（中央法規出版）が必要ですので各自、用意をお願いします。
・この様式は、おきなわ障がい者相談支援ネットワークのホームページ「研修受講が決定している方へ」タブからもダウンロードできます。
・レポートの**提出締め切りは１０月１８日（消印有効）**となっています。
・レポートが空白、受講していないとみなされた場合や期日内に提出できない場合、修了証を発行できないことがありますのでご注意ください。

相談支援従事者現任研修のレポーを郵送する前に、もう一度ご確認ください！！

☑	・課題のシートは、全部で５ページありますので確認してください（このページは含みません）。
	受講者本人・講師名の名前の書き忘れはありませんか？
	上記押印の欄に、押印がされていますか？（認印可）
	シートに書き忘れ、空白はありませんか？
	レポートのコピーはとりましたか？
	返信用封筒の書き忘れはありませんか？

※課題に不備があった場合、事務局から再提出をお願いする場合があります。
不備とは空白が多い、同じ内容を繰り返し記載する、講師名や名前の記載がない等
※課題のシートが足りない、返信用の封筒が入ってないなど、不備などがありましたら、おきなわ障がい者相談支援ネットワーク事務局（℡090-6856-7079）までご連絡ください。

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート（科目別）

講義動画視聴終了日　　年　　月　　日

私は本講義動画を視聴いたしました。　　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

科目名	【講義１】（テキストページ２２～５４頁） 障害者総合支援法及び児童福祉法等の現状	講師名	

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

獲得目標	自己評価		気づきや理解した点等
	受講前	受講後	
① 障害福祉制度の経緯について振り返り、最新の法律改正の概要について理解する。			
② 最新の障害福祉サービス等報酬改定の内容について理解する。			
③ 障害福祉計画及び障害児福祉計画の経緯と動向について理解する。			
④ 地域生活支援拠点等の位置付けと機能について理解する。			
⑤ 障害者支援における権利擁護と虐待防止に関わる法律等の内容を振り返り、理解を深める。			
⑥ その他関連制度の状況について理解する。 ・介護保険制度との関係性 ・生活困窮者自立支援制度 ・地域共生社会の構築に向けた取り組み			

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

←理解度が高い　　理解度が低い　→

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート（科目別）

講義動画視聴終了日　　年　　月　　日

私は本講義動画を視聴いたしました。　　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

科目名	【講義２－１】（テキストページ　５６～８３頁） 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 第１節　意思決定支援に着目した個別相談支援	講師名	

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

獲得目標	自己評価		気づきや理解した点等
	受講前	受講後	
相談支援の実務において、相談支援の基本姿勢等を常に意識した実践ができる。			
相談支援において、信頼関係の構築及び自己肯定感・エンパワメントを高めていく支援の必要性を理解し、実践することができる。			
相談支援のプロセスにおける、インテークやアセスメント、モニタリング等の役割や機能、留意点を理解し、実践することができる。			
相談支援における、意思決定支援のポイントを理解し、実践できる。			

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

←理解度が高い　　理解度が低い　→

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート（科目別）

講義動画視聴終了日　　年　　月　　日

私は本講義動画を視聴いたしました。　　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

科目名	【講義２－１】（テキストページ８４～１０７頁） 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 第２節　多職種連携及びチームアプローチ	講師名	

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

獲得目標	自己評価		気づきや理解した点等
	受講前	受講後	
多職種連携・チームアプローチの意義や目的・方法を理解し、他のひとに伝えることができる。			
ケアマネジメントプロセスの各場面における多職種連携・チームアプローチを理解し、実践することができる。			
事業所・組織・多機関・地域それぞれに応じた多職種連携・チームアプローチを理解し関係作りをするとともに、本人の意思を尊重したチームによる意思決定支援ができる。			
各種会議等において、相談支援専門員の役割と業務を理解し、会議の技術を用いた運営・実践をすることができる。			
多職種連携・チームアプローチの阻害要因を考え、連携先の立場に立った視点、配慮、解決に向けたアイデアをみつけ、実践に活かすことができる。			
多職種連携・チームアプローチの重要性を理解し、常日頃の実践から、本人の最善の支援が実践できるように取り組む姿勢を持っている。			

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

←理解度が高い　　理解度が低い　→

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート（科目別）

講義動画視聴終了日　　年　　月　　日

私は本講義動画を視聴いたしました。　　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

科目名	【講義２－３】（テキストページ　109～124 頁） 本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法 第３節　地域を基盤としたソーシャルワーク	講師名	

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

獲得目標	評価		気づき等
	受講前	受講後	
地域を基盤としたソーシャルワークの意義と機能を理解し、説明できる			
個別支援から地域課題の抽出、地域支援の展開について理解し、実践することができる。			
地域課題への取り組みに向けた（自立支援）協議会の活用について理解し、実践することができる。			
地域アセスメントの目的や視点・方法を理解し、実践することができる。			
地域資源の柔軟な活用、資源ネットワークの必要性について理解し、実践できる。			

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

←できる　　できない→

e-Learning

現任研修　振り返り・評価シート（科目別）

講義動画視聴終了日　　年　　月　　日

私は本講義動画を視聴いたしました。　　氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

科目名	【講義 3】（テキストページ　126～138 頁） 実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法	**講師名**	

本シートは、現任研修で習得すべきことがらについて、研修の受講前後の自らの理解度を可視的に捉えるものです。視聴後は期限までに必要事項を記入し、事務局へ提出してください。

［事前評価］① 本研修で自らが特に重点的に学ぶべき点を意識して研修に臨む。

［事後評価］① 受講後の学習効果を確認する（身についた、理解した自己評価と相違があった等）。

② 今後の実践や演習など、学びに向けた指針を確認する。

○ 以下の獲得目標毎の自己評価を 10 段階で評定し、記入する。

獲得目標	評価		気づき等
	受講前	受講後	
スーパービジョンの定義や機能、特長について説明することができる			
相談支援専門員のスーパービジョンの必要性を説明することができる			
事例検討やグループスーパービジョンの必要性を説明することができる			
スーパービジョンの具体的な方法を理解し、実践の中で取り入れることができる			

10　9　8　7　6　5　4　3　2　1

←理解度が高い　　理解度が低い　→